

活動スローガン

「宮木公民館活動」を、
“みんなで 明るく、楽しく、元気よく”

館 報

みやき

発行 宮木公民館
編集 宮木公民館文化部
印刷 辰野プリント

一年を顧みて



宮木区区长
松澤信宏

昨年に引き続きコロナ禍での制限に翻弄された1年でしたが、佐藤副区長、渡辺会計、吉川書記等に支えられて無事任務を終了することができそうです。感謝の一言です。

区民球技大会・夏祭り・文化祭も中止せざるを得ない状況で、公民館役員の皆様には大変なご心労をおかけ致しました。敬老会等も実施できなかったことは誠に残念でありました。コロナ対策としては町の補助金で、空気清浄機4台・エアコン1台・自動消毒機検温機1台の設置、そして男子トイレの手洗い自動栓化工事が出来ました。

又8月の大雨災害で被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。屋敷であれ田畑であれお構い無しに、狂ったごとく流れ押し寄せる土砂の剛力に、自然の恐ろしさを感じました。しかし、その対処に当る各地域の皆様の知力と団結力には、感服いたしましたと共にひたすら、感謝の一言でした。30ヶ所超の被災箇所も大方の復旧が済んでおりますが、気象変動とか地球温暖化という単純な言葉では済まされない憤りを感じております。

来る御柱祭に向けては、境内の危険な樹木の伐採を進めて参りました。神社北側の道路から石段にかけて整備していただくことができたため、環境整備はほぼ万全に至ったと思っております。注蓮祭、斧入れ祭も済ませ、御神木には山出し・里曳きまでの間、木場において静かにお休みいただいております。コロナのオミクロン株も静かに収まり里曳きやこども御柱が楽しく盛大にできることを、ひたすら願っております。

更に長年の懸案でありました西小学校敷地内（体育館東側）のヒマラヤ杉の大木も伐採していただくことができ、安全が確保できたと胸をなで下ろしているところであります。

町全体としての問題ですが、人口減少等の要因が重なり様々な分野で過渡期を迎えた案件が続出し、交通安全協会の存続問題もその一つです。運転免許の書き換えができる利点を維持することと、尚且つ区民の負担を最小限に抑えるため規模をできる限り縮小した、区独自のルール作りを行っております。

今年度の終わりに当たり、町総代他、区役員の皆様のご協力とご尽力に対し、感謝申し上げますとともに、微力な私を温かく見守って下さりご助言を賜りました区民の皆様方に、衷心より御礼申し上げます。そして、今後の宮木区の益々のご隆盛を祈念しながら、壬寅年式年御柱祭が盛大に挙行されますことを心より願っております。

公民館活動を顧みて



宮木公民館分館長
小河正雄

本年度公民館分館長という大役を仰せつかり、その任を全うできるかどうかを自問自答し、諸先輩の足跡を何とか継ぎ、地元の皆様のご期待に添えるよう企画・計画・運営方法等、気持を高めスタートしました。

しかし、この気持に違わず新型コロナウイルスの蔓延による、多くの規制を国・県等から受け、当地域での企画、行事全てに制約（中止、制限、縮小等）を受けました。意に反し、涙を呑むしかありませんでした。

そんな中、一筋の喜びは、年末を押しての「しめ飾り講習会」です。60名を越す大勢の皆様のご参加を受け、和気あいあいの中、それぞれが自分の作に一喜一憂された姿が実施の喜びを感じた1シーンでした。ありがとうございました。早くコロナウイルスからの離脱を切望するのみです。

皆様のご健康とご多幸をお祈りしながら、この1年間のご協力に感謝致します。

しめ飾り講習会

12月12日(日)

副分館長 宮 島 博 明

12月12日(日)に公民館行事である『しめ飾り講習会』を、公民館2階大広間と3密を避けるため隣屋も使い実施しました。

講師は、小松先生(元町)にお願いし「歴史的行事であるこのしめ飾り造りが、この地方の歴史を継承していく意味においても若い人の参加が大いにうれしい」との御挨拶で始まり、参加者66名(内6名子供)は悪戦苦闘しながらも小松先生の指導の下、立派なしめ飾りを作り上げ皆満足そうでした。

講習会に当たり、稲藁を提供してくださいました方をはじめ、ご尽力くださった方々に心より感謝致します。



令和3年度 同好会この1年

★宮木写真同好会 代表 武井健治

新型コロナの影響で東京五輪までは活動の自粛を余儀なくされました。感染が落ち着いた秋以降には1年振りの撮影旅行（木曽阿寺溪谷）作品展示会（宮木郵便局及びJA辰野支所）を開催することで、ウィズ・コロナの態勢に入ることが出来ました。

未だコロナの心配は残りますが、令和4年は御柱祭の本番、我が同好会も心に残る作品を撮影しようと張り切っております。



★ヨーガ同好会 代表 大井田佳子

今年度8月に全国的なコロナ感染者拡大で、県より「医療非常事態宣言」が発令されたことを受け、9月は活動を中止。冬期1・2月も休会しました。残り9ヶ月は毎週水曜日13:30~14:30頃まで大広間を使わせていただき、コロナ感染対策をとりながら安全に活動できました。楽しい仲間と、硬くなりがちな身体のストレッチをすると、心もからだも軽くなりまた一週間頑張れます。無理なく楽しいストレッチ、是非一度見学にいらして下さい。

★大正琴の会 代表 大井田佳子

8月に県よりコロナ感染者拡大による「医療非常事態宣言」が出されましたので、9月の活動は中止いたしました。残り11ヶ月は月2回毎週火曜日13:00~15:00まで、コロナ感染対策をとりながら、わきあいあい大正琴の練習が出来ました。昨年に引き続き公民館主催の芸能発表会が中止となりましたので少し残念ではありました。

月2回顔をあわせるだけで心がなごみ笑顔になれる会です。能トレにもなります。新しい仲間をお待ちしています。

★区誌を読む会 代表 原 尚

3月から11月まで月2回、宮木区誌の輪読会を行った。新型コロナウイルス拡大の中、部屋の換気、消毒には特に注意を払いながら行った。

本年度の主な学習内容の概要は、運送・通信・災害の歴史である。特に参考になったことは、水害の歴史を学ぶ事であった。昨年の8月水害は宮木区民にとって多大な害を与えたが、過去にも同じような事が発生していたのであった。

★書道同好会 代表 水野たづ子

書道同好会は毎月第1・第3月曜日、午後1時30分から3時まで先生指導の元、毎月いただくテキストに添って中国文字を学んでいます。コロナ禍で休んだ月もありましたが、文字を書く楽しさを感じています。

文化祭も2年続けて開催されませんでした。1月には宮木郵便局で1人1作品を展示していただきます。

★健康麻雀同好会 代表 宮下敏夫

宮木健康マージャン同好会は、健康的マージャンを楽しむ仲間の集まりです。マージャンは賭け事のイメージがありますが、「(お金を) 賭けない」「(お酒を) 飲まない」「(たばこを) 吸わない」の“三ない、”がモットーです。

指先と頭を使う事で「能トレ効果」があるといわれ、皆がゲーム感覚で楽しめる同好会です。

当会の活動内容は、原則として毎月第1・第3月曜日 午後1時~4時まで、会員23名で活動しております。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月から7月まで休会としたが、高齢者の2回目ワクチン終了により8月から開催となりました。

★喜楽倶楽部 代表 長島 功

皆さん、お元気ですか？コロナが時代を襲う様に人々の生活を蝕んで2年、私たちの活動も同じ様に2年の休止。歌を大声で歌える日、マスク無しでの会話、人数制限のない集会etcと数えれば切りがありません。早く活動を再開したいと切に願うばかりです。

私達の喜楽倶楽部は、毎月最終週に歌声を開いていました。活動再開の折には是非、顔を出してみてください。

★ゴルフ同好会

代表 矢島 治 夫

本年はコロナ禍なるも予定通り春・秋の同好会ゴルフコンペ実施できました。

春（5月16日）は30名参加で、優勝は垣内良規氏でした。表彰は諏訪レイクで行った。

秋（10月25日）は25名参加で、優勝は川上明氏でした。表彰と親睦は初めて「福星居」で行った。

次年度は役員改選で次の方々に内定です。

会 長 川 上 明

幹 事 宮 原 秀 寿

会 計 山 岡 昌 彦

★宮木公友会(長持ち同好会) 代表 大坪 智

昨年に続き同好会としての活動はほとんど出来なかった1年間となりました。

その中でも、本年4月に行われます、御柱祭に向けて、新しい棹のメンテナンス等を、宮木諏訪神社にて行いました。集まりずらい中ではありましたが、会員の皆さんにも協力して頂きながら進める事が出来ました。今後も活動の場を拡げ、文化の継承という所も含めて、年間報告とさせていただきます。

最後に、会員も募集中ですのでよろしくお願いします。



★ジョギング研究会+球技研究会ルッチョラ 代表 井上 武 明

続くコロナ禍で近隣のラン&球技大会の多くが中止で自主トレの日々が続きました。そんな毎日でも春先のたつの海ウオーキングコースではコース端のクロウバーの花にミヤマシジミが佇み、春の気配が感じられました。町内駅伝の木材センターから町役場までのアンカー区間の長い坂道をもう一度担当したいという願いを抱きつつ松本Sky&Road諏訪湖畔10Misそして、たつの海での練習を積んできましたが、今年も中止となりました。2008年大会から参加させていただいている大会を通じて担当区間のタスキをつなぐという思いはどんなコースでも変わらないとリアルに感じました。いつか復活した駅伝でアンカーを担当するという夢そしてゴールテープの景色に辿り着き皆さんと大会開催の喜びを共にする日がくるという希望を持ち続けて日々メンバーと共にラン&球技の心技体を研究しているこの頃です。1年間ありがとうございました。



1年間をふり返って

令和3年	5月 1日(土)	公民館報148号発行
	6月 6日(日)	宮木区民球技大会 中止
	12日(土)	ほたる祭り町民総踊り 中止
	7月11日(日)	ふるさと歴史探訪 中止
	8月14日(土)	宮木ふるさと夏祭り参加 中止
	10月16日(土)	第65回町内一周駅伝大会 中止
	24日(日)	宮木区文化祭 中止
	11月14日(日)	宮木区民芸能祭 中止
	12月12日(日)	しめ飾り講習会

公民館大広間にて開催

令和4年 3月 1日(火) 館報150号発行予定

宮木区ホームページ

<http://miyaki.sakura.ne.jp/>

区内の行事予定や公民館の
行事、館報のバックナンバー
等も掲載しています。

QRコードからも是非!



編 集 後 記

昨年につづき新型コロナウイルスの影響もあり、公民館の行事が中止となりました。

区民の皆様方との交流さえも出来ずにこの1年が終わろうとしています。

来年こそは、コロナウイルスが収まり、公民館の行事が出来るよう、これからも公民館役員一丸となって活動に努めていきたいと思ひます。ありがとうございました。

宮木の人口

(令和4年2月1日現在)

人口 3,750人

男 1,805人

女 1,945人

世帯 1,511戸